



荘内だより

荘内病院
臨床研修通信
Vol.16
2024.3発行



地域住民と一緒に考える地域医療

荘内病院ドクター出前講座

研修医も寸劇に参加!

ドクター出前講座は、当院の鈴木院長と研修医が地域の町内会等に出向き、地域医療の現状などを地域住民に伝えるとともに、住民の皆さんの生の声を聞きながら地域医療を一緒に考える場として開催しています。

がんの予防講話に加え、研修医による救急外来を受ける際の注意点などをわかりやすく紹介する寸劇、参加者との車座フリートークの構成です。



出前講座は、2017年に初演。途中 COVID-19 パンデミックの影響で中断しましたが、24年まで計29回開催しています。

寸劇は、毎回上演していませんが、研修医の皆さんには快く救急医役を引き受けていただいています。「急性脳梗塞の症状が疑われる場合は救急車ですぐに当院 ER を受診していただきたい、脳梗塞の治療は時間との勝負」であることを住民に伝える内容です。

研修医の皆さんの真剣さや時に出るユーモアなど、その奮闘ぶりが毎回感動を呼び、大変好評を得ています。「地域住民として、これからも研修医を応援していきたい」との嬉しい声も聞かれました。



脳卒中の寸劇に参加させていただきました。大勢の地域の皆様の前での演劇は、普段の診療より何倍も緊張しました。私のミスも笑いに変えてくださる皆様の温かさに感銘を受けました。市民の方と協力して一つのものを作り上げるという、とても貴重な経験をさせていただきました。

また患者さんの立場から疾患について考える機会でもあり、非常に勉強になりました。この演劇が一人でも多くの方の命や健康を守ることに繋がれば幸いです。



鈴木 聡 院長

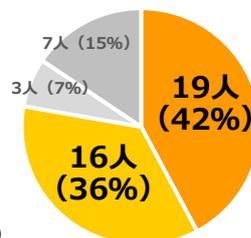


令和5年度採用研修医
神保 瑞希 先生



寸劇がわかりやすかったとの声を多数いただいております!

寸劇の評価
令和5年12月開催
(西郷地区、45名回答)



■ とてもわかりやすかった ■ わかりやすかった ■ 普通 ■ 無回答

荘内病院研修プログラムの特徴紹介 Vol.2

整形外科4週を必修科目に追加！いざ戦場(ER)へ

臨床研修医制度では、内科（24週以上）、救急（12週以上）、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療（各4週以上）が必修分野となっています。

当院では、独自のプログラムとして**令和6年度より整形外科4週を必修科目とします。**

1年次のうちに整形外科で研修をすることで、骨折の見方やルート確保など知識や技術を身につけ、救急外来で活躍できる研修医になってほしいと考えています。

整形外科によるシーネの巻き方講座 ▶



東北医科薬科大学病院 赤尾 剛 先生

（2021年4月～2023年3月研修）



みなさまご無沙汰しております。2021年から2年間、臨床研修医としてお世話になっていた赤尾です。現在は仙台の東北医科薬科大学病院で脳神経内科の専攻医をしています。

私は初期研修の途中までは脳神経内科以外の科を志望していました。しかし、荘内病院での各科研修や救急外来を通して内科系に興味を持ち、最終的にはその中で1番やりがいを感じた脳神経内科を選びました。学生の頃から敬遠していた脳神経分野に自分が進むとは露ほども考えておらず、つくづく人生とは何が起きるかわからないなと実感します。現在は脳卒中や神経免疫疾患に興味をもって取り組み、充実した日々を送っています。研修医や学生の方は、志望科を早くに限定せず、広い視野をもって研修に臨んでいただければと思います。

写真は私が大学の卒業旅行で沖縄に行った際に購入してきたガジュマルの木です。当初は葉っぱ5枚程度の手のひらサイズであったのですが、現在は、狭い我が家の一角のちょっとした森になっています。鶴岡から仙台に連れてくる際は、車に押し込むのも一苦労でした。日々、成長を続けるこのガジュマルのように私もたくさんの知識や経験を積み、医師として成長を重ねていけたらと思います。それでは、またいつかどこかでお会いできることを楽しみにしています。

先輩の皆様のお便りをお待ちしています。連絡先が変更になった場合もご連絡をお願いします。

【連絡先】 鶴岡市立荘内病院臨床研修秘書 伊藤 江里子

電話：0235-26-5111 Email：kenshu-secretary@shonai-hos.jp



臨床研修リクルートサイト・臨床研修医公式Instagram・臨床研修医募集動画